

エコアクション21 環境レポート

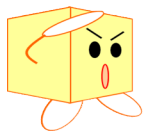
平成29年度
(H29年4月～H30年3月)



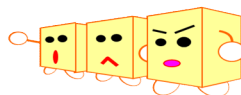
 **太陽インダストリー株式会社**

段ボール事業部 戸畑工場

作成日：2018年4月27日



目次



- (1) 全組織の概要
- (2) 認証・登録範囲
- (3) 事業の規模
- (4) 実施体制と組織図
- (5) 役割分担
- (6) 環境方針
- (7) 環境目標
- (8) 環境活動計画
- (9) 環境目標に対する実績
- (10) 取組結果及び評価、次年度の取組内容
- (11) その他 環境に関する活動(環境コミュニケーション)
- (12) 環境関連法規等の遵守状況の確認
及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

この環境活動レポートは2009年度版ガイドライン
に添って作成しています！



(1) 全組織の概要

事業所名	所在地	人員	事業活動内容
本 社	北九州市小倉南区湯川4丁目1-1	9	組織全体の総務・経理・人事等の管理業務
段ボール事業部	戸畑工場	57	段ボールケースの製造販売 及び包装資材の販売
	製品在庫保管倉庫	9	
化成事業部	中津工場	93	人工大理石製品・樹脂成形品の製造
	新田工場	61	レジンコンクリート製品の製造FRP成形品の製造 重量物段ボールケースの製造・販売
段ボール事業部	大分事業所	22	段ボールケースの製造
構内事業部	小倉事業所	27	衛生陶器製品の製造、及び梱包出荷業務の請負
	中津事業所	135	衛生陶器製品の製造・検査及び梱包出荷業務の請負
	舞ヶ丘事業所	59	衛生陶器製品の梱包出荷業務の請負

(2) 認証・登録範囲

① 対象事業所

事業所名 : 太陽インダストリー株式会社 段ボール事業部 戸畑工場
 関連事業所 : 太陽インダストリー株式会社 段ボール事業部 製品在庫保管倉庫
 代表者名 : 段ボール事業部 戸畑工場 事業部長 宮崎 亮太郎
 環境管理責任者 : 佐藤 康一
 担当事務局 : 城戸崎 雄太
 連絡先 : TEL093-884-2135 FAX093-884-2130

所在地

- 1) 戸畑工場 〒804-0071 福岡県北九州市戸畑区川代2丁目3番7号
- 2) 製品在庫保管倉庫 〒804-0076 福岡県北九州市戸畑区銀座2-9-9



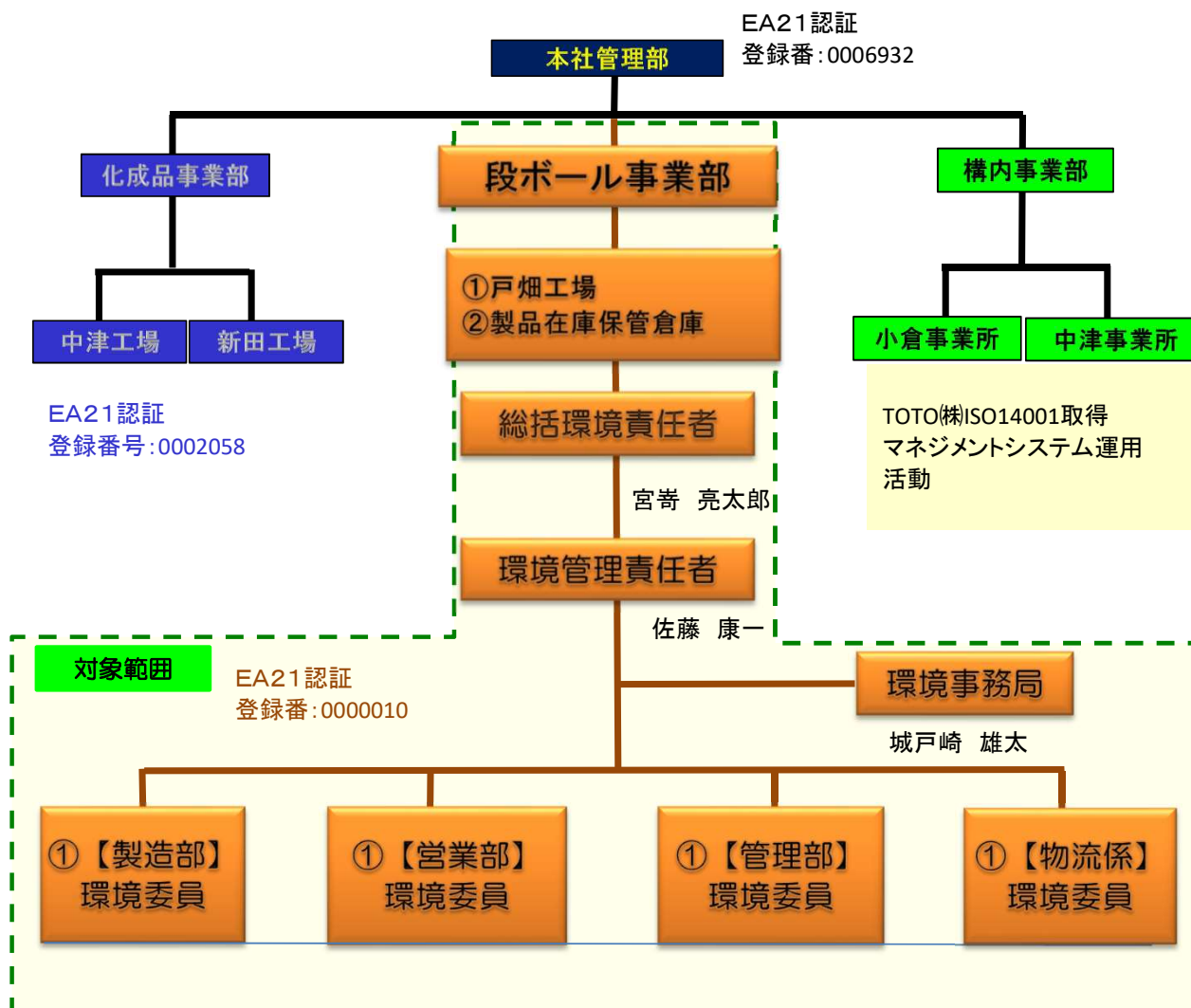
② 対象事業活動

段ボールケースの製造販売及び包装資材の販売

(3) 事業の規模

項目	単位	2015年度	2016年度	2017年度
主要製品生産量	t	6,097	5,686	4,505
出荷額	万円	109,168	102,118	108,780
従業員人数	人	68	66	58
床面積	m ²	8,564	8,564	8,564

(4) 実施体制と組織図



(5) 役割分担

役割分担表	部署・役職	氏名	役割・責任・権限・使命
代表者 総括環境管理責任者	事業部長兼工場長	宮崎 亮太郎	<ul style="list-style-type: none"> 工場環境保全の総括管理 環境方針の作成 全体の評価と見直し
環境管理責任者	製造部長	佐藤康一	<ul style="list-style-type: none"> EA21の運用管理 環境目標の設定 環境活動計画の設定
環境委員	営業部 業務課 製造課 物流係	児玉 亜弓 山口 由美 松本 浩平 竹下 俵太	<ul style="list-style-type: none"> 部内及び担当職場の環境保全管理 活動計画の運用推進と進捗状況の報告
E A21推進事務局		城戸崎 雄太	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全に関する諸問題への対応 文書、記録の作成、見直し、保管。 計画の達成状況の調査、把握

(6) 環境方針

1. 基本理念

当社は、「お客様の繁栄をお手伝いをする」ことをモットーに、人と自然との共生をめざして快適で安全な地球環境の保全に少しでも貢献するよう社員一人ひとりが創意・工夫を図り環境負荷の低減に積極的に取り組めます。

又、生活活動の推進資源の消費者として環境に配慮した資材の調達に努めます。

2. 環境方針

当社は、段ボールケースの製造・販売及び包装資材の販売を行っている中で環境負荷の低減を図る為、以下の環境活動を推進しています。

- (1) 環境目標を定め、定期的に見直し継続的な環境経営システムの改善に努める。
- (2) 環境に関わる、あらゆる法規制とその他要求事項を遵守する。
- (3) 当工場の事業活動に伴う影響を考慮し以下の項目について環境改善に努める。
 - ①二酸化炭素排出量の削減。（電気使用量の削減・維持、自動車燃料の使用量削減等）
 - ②廃棄物排出量の削減。
 - ③投入資源の削減。
 - ④総排水量の削減。
 - ⑤グリーン購入の推進。
 - ⑥環境配慮包装設計の推進。
- (4) 継続的環境改善の実施を行い更なる環境意識の向上及び環境教育を展開し全従業員の環境意識を高めていく。
 （環境活動による費用対効果を対前年比と比較し開示及び周知させ環境に対する意識の向上を目指す。）

2003年10月1日制定

2017年 4月1日改定

太陽インダストリー株式会社

段ボール事業部 戸畑工場

工場長 宮寄 亮太郎

(7) 環境目標

項目		単位	基準値	2017年度 目標	2018年度 目標	2019年度 目標	
二酸化炭素 排出量	電気使用量	kwh/千㎡ (kg-CO2換算)	48.21 (18.56)	47.73 (18.38)	47.25 (18.19)	46.77 (18.01)	
	自動車燃 料使用量	物流	l/万㎡ (kg-CO2換算)	53.03 (139.17)	52.50 (137.78)	51.97 (136.39)	51.44 (135.00)
		営業	km/l (kg-CO2換算)	13.68 (16.97)	13.81 (16.81)	13.95 (16.65)	14.09 (16.48)
	総量 (原単位総量)		kg-CO2	278,454 (174.7)	275,669 (172.69)	272,885 (171.14)	270,100 (169.59)
廃棄物排出量		トン	14.75	14.60	14.46	14.31	
総排水量		l/日	3,514.9	3,479.8	3,444.6	3,409.5	
包装材使用量の削減		案件/年	10	10	10	10	
グリーン購入		%	94.0	94.0	94.0	94.0	
投入資源の削減 (加工平米のロス率の削減)		%	1.040	1.030	1.019	1.009	

※ 九州電力の実排出係数0.385kg-CO2/KWh (平成22年度)

* 基準値は直近3年の実績平均を基準とする(一部例外を除く)

(8) 環境活動計画

1. 二酸化炭素排出量を 基準値より1% 削減

項目		活動内容
1 不要電力の削減 /管理	1	・使用時以外の照明器具の消灯
	2	・冷暖房設定温度の厳守
	3	・主要3機種 時間あたりの生産性管理
	4	・機械部品の管理による生産停止時間の削減
2 配送用トラックの ガソリン使用量の削減	1	・効率的配送計画の実施
	2	・ガソリン使用量、燃費の把握、管理
	3	・定期的な車両点検による管理
3 営業車両のガソリン 軽油使用量の削減	1	・エコドライブの推進
	2	・車内積載物の整理（荷重低減）
	3	・不要なエアコンOFFによる燃費向上推進
	4	・定期的にオイル交換の実施（管理及び交換月の連絡）

2. 総排水量を 基準値より1% 削減

項目		活動内容
1 不要な水使用量の削減	1	・日々の水道メーターの確認
	2	・工場全体の漏水チェックや蛇口の水漏れ点検実施
	3	・廃水処理稼働の把握による水使用量管理

3. 廃棄物排出量 基準値より1% 削減

項目		活動内容
1 一般ごみの分別による削減	1	一般ごみ回収時の注意喚起や集計管理
	2	回収容器可能な弁当業者の推進実施

4. グリーン購入の推進 94% 以上購入

項目		活動内容
1 グリーン適用品の購入推進	1	・詰め替え可能な製品の購入推進
	2	・過去の購入品リストを基に適合品の購入、管理実施

5. 環境資源投入時の加工ロス削減

項目		活動内容
1 主要3機種加工 平米のロス率削減	1	・数量厳守製品のスペア枚数削減による余剰ケースの削減
	2	・主要3機種 加工ロス率管理
	3	・乾燥時期におけるスチーム機使用による割れ不具合防止

6. 包装材使用量の削減 1%以上 10案件

項目		活動内容
1 材質・仕様変更による重量低減	1	・環境負荷低減の設計提案管理
	2	・既存品の材料削減の提案推進

*環境意識向上取組みとして

- ・ゴミの当番制による回収を実施。
- ・朝礼等で内部コミュニケーションの一環として周知・教育
- ・川代地区で実施の街美化運動(ゴミ拾い)の参加

(9) 環境目標に対する実績

項目		単位	基準値	2017年度目標	2017年度実績	判定	
二酸化炭素 排出量	電気使用量	kwh/千㎡ (kg-CO2換算)	48.21 (18.56)	47.73 (18.38)	47.40 (18.25)	○	
	自動車燃料 使用量	物流	l/万㎡ (kg-CO2換算)	53.03 (139.17)	52.50 (137.78)	44.57 (116.97)	○
		営業	km/l (kg-CO2換算)	13.68 (16.97)	13.81 (16.81)	14.35 (16.16)	○
	総量 (原単位総量)	kg-CO2	278,454 (174.7)	275,669 (172.69)	234,348 (135.22)	○	
廃棄物排出量		ト	14.75	14.60	7.99	○	
総排水量		l/日	3,514.9	3,479.8	3,186.5	○	
包装材使用量の削減		案件/年	10	10	13	○	
グリーン購入		%	94.0	94.0	96.8	○	
投入資源の削減 (加工平米のロス率の削減)		%	1.040	1.030	0.518	○	

※ 九州電力の実排出係数0.385kg-CO2/KWh(平成22年度)

※ 投入資源の削減は2012年度設定基準値にて継続実施

(10) 取組結果及び評価、次年度の取組内容

環境資源投入時の加工ロス削減

取組み内容

数量厳守品番の余剰品管理、割れによる不具合品削減によるロス率削減に取り組めました。

取組み結果及び評価

加工平米ロス率は3機種で0.518%となっており、基準値対比で50%の削減ができました。印刷機のロス率が大きく改善になりました。

次年度取組内容

来期は検査装置の導入を検討しています。さらなりロス率・クレーム低減に期待します。

一般ごみ削減による廃棄物排出量の削減

取組み内容

容器の回収可能な弁当業者の推進を行いました。また、ゴミの分別の徹底も推進しました。

取組み結果及び評価

取組み実施により基準比で35.1%、前年比8.1%の削減効果となりました。各部署へ周知、水平展開も実施しており、意識も高まっています。

次年度取組内容

今年度より排出量が増えないように取組をしていきます。

不要電力の削減による二酸化炭素排出量削減

取組み内容

工場機械の生産性管理を中心に、不要電力の削減や、機械メンテによるチョコ停の軽減に取り組みました。

取組み結果及び評価

生産性は目標値をほぼ達成していますが、夏場の猛暑によりスポットクーラーを増設し、夏季に電力が増加しました。目標値の見直しをしたことで、適正值に近づいていると思います。

次年度取組内容

来期は省エネタイプの熱中症対策やさらなる追加取り組みでの効果を期待しています。

不要な水使用量の削減による総排水量の削減

取組み内容

日々水道メーターの監視測定を中心に、工場全体の漏水チェックや節水ステッカーの作成による意識向上、廃水処理稼働の管理を行いました。

取組み結果及び評価

7月に大きなイレギュラーがありましたが、早期発見にて単月のみのイレギュラーに抑えることができました。また、完全一直になったことも起因し、目標値も大きく上回り、良い結果がでたと考えます。

次年度取組内容

引き続き監視を行い、大幅な増加がないように取組を行っていきます。

グリーン購入の推進

取組み内容

カタログによるグリーン適用品又は適用類似品の購入を推進しました。

取組み結果及び評価

取り組みにより定着できており、目標値も達成できています。

次年度取組内容

2019年度版ガイドラインでは要求事項から外れるため、取組としては行いませんが、定着化しているため、継続できると確信しています。

配送用トラックの燃費向上による二酸化炭素排出量削減

取組み内容

エコドライブ10の推進及び効率的配送計画の推進、エコサムによる監視・教育を行いました。

取組み結果及び評価

備車を多く使用していた為、自社便を有効的に活用し、物流費の削減をしました。

また、車両点検を随時実施し、結果として通期で目標達成ができました。

エコサムをいれることで、各車の急停止・急発進の回数やルートを把握し、教育にも繋がっています。

次年度取組内容

継続的に効率的な配送計画、自社便の有効活用を行い燃費向上、使用燃料削減に努めていきます。

また、エコサム導入での燃費・安全向上にも努めます。

営業車両の燃費向上による二酸化炭素排出量削減

取組み内容

営業車の定期的な整備及び管理と不要なエアコンOFFの推進を行いました。

取組み結果及び評価

燃費も基準の105%向上と目標達成ができました、アクア(HV車)を導入したことも大きな効果に

繋がっていると思います。

次年度取組内容

来年度も同様に管理・観察を行うとともに、HV車の導入も検討します。

材料・仕様変更による包装材重量低減

取組み内容

既存品の重量削減にてLCC原紙を推進しました。

取組み結果及び評価

値上げ時にS160からLCC120に変更することで、コストダウンと重量低減にて提案を実施。

サンプルにて試験を実施し、採用となりました。

次年度取組内容

来期も同様の提案を実施し、重量低減に努めていけるようにします。

(11) その他 環境に関する活動(環境コミュニケーション)



取組内容

毎月1回、従業員による工場周辺のゴミ拾いを行っております。この活動は、11年目になります。すっかり馴染みのある活動になり、周辺の方々に認知して頂くようになりました。

又、毎年10月の第一日曜日には北九州市主催の「街美化の日」に伴い当工場のある川代埠頭においても、近隣工場と一緒に周辺ゴミ清掃をおこない、周辺企業との交流を図り従業員一同環境に対する意識向上を図っています。

(12) 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

- 当工場に適用される環境に関する法規を遵守しています。尚、法規確認の結果違反は無く、関係当局並びに利害関係者からの指摘もありませんでした。

(12) 代表者による全体の見直しと評価

項目	所見
是正の実施状況	是正報告書を確認すると目標値が実情とあっていない為、見直しが必要でした。改善はできています。
法の遵守状況	環境省のHPより新しい情報を入手しています。問題ありません。
実施体制の適切性	各部署評価までしっかりできてきました。継続してください。
目標設定の妥当性	環境目標と整合して年一度見直しを行っています。進捗状況報告書も作成されています。
教育、訓練の実施状況	年間教育訓練一覧表に基づき実施されています。
コミュニケーションのあり方	外部コミュニケーションについては、問題はないようです。掲示も行われており問題ありません。
文書管理状況	見直しも実施し、リスト化され管理できています。今後もISO9001と併用可能な文書は統一を検討願います。
運用管理の有効性	定着化してきていますが、ISOの方に視点がいきっており、環境が少し置いていかれているきもします。周知・実施は必ず行い、全員で活動できるようにしてください。
緊急事態の考え方	緊急時の訓練については計画通り実施できています。いざという時に対応できるように繰り返し教育をしてください。
環境方針の変更の有無	変更はありません。削減も厳しくなっていますが、必ず増えないように取組みを行ってってください。
環境目標の変更の有無	変更はありません。継続して削減に取り組んでください。
要求事項の変更の有無	2009年版に従って要求事項の変更を行い問題なく活動していますので変更は有りません。2017年度版の情報収集・移行準備をお願い致します。
その他	電力自由化により来期さらなる費用対効果の向上が予想されます。
全体評価	削減活動にも前向きに取り組んでいますし、増えないように維持することも取り組んでいます。イレギュラーでの数値変動はありますが、必ず発生原因を今後の活動に活かしてください。また、省エネタイプの設備・HV車の導入も検討ください。